

令和2年度当初予算(案)のポイント

林務部

1 新たな時代を見据えた森林・林業イノベーションの創出

- ・ **拡** 信州の森林づくり事業(人工造林支援分) R2当初: 48,600千円
主伐・再造林をより進めるため、再造林費用を県費で嵩上げ(補助率70%→85%)
- ・ **拡** 森林経営管理体制支援事業 R2当初: 47,798千円(R1当初: 61,893千円)
複数の市町村が連携して「森林経営管理制度」を推進するための補助制度(広域連
合立ち上げの際に必要なシステム整備等の初期費用などを補助)を創設
- ・ **拡** 林業イノベーション推進総合対策事業 R2当初: 23,000千円
リモートセンシング技術を用い、造林作業に必要な設計・施行管理の省力化を支援
- ・ スマート林業構築普及事業 R2当初: 21,700千円(R1当初: 18,135千円)
R1年度に調査した広葉樹の樹種別解析結果に基づく施業を実施し、効果を検証

2 県産材の販路拡大

- ・ **新** 木づかい空間整備事業 R2当初: 40,800千円
県産材の利用拡大を図るため、民間のオフィス、店舗の木質化等の補助制度を創設
するとともに、県民の利用頻度が高い県有施設の木質化を推進
- ・ **新** 県産材製品コーディネーター配置事業 R2当初: 2,500千円
都市圏における県産材の販路拡大を支援するコーディネーターを1名配置

3 その他

(1) 松くい虫被害対策の推進

- ・ **新** 松くい虫被害地森林経営管理対策支援事業 R2当初: 5,000千円
市町村が自ら管理する森林の絞り込みを行うための指標となる「松くい虫被害レベ
ルマップ」を作成
- ・ **新** 松くい虫被害市町村拡大防止事業 R2当初: 1,000千円
被害市町村の拡大を未然に防止するため、松くい虫未被害市町村が行う被害監視及
び被害木の伐倒駆除に対する取組を支援

(2) CSF対策の推進

- ・ CSF緊急対策事業 R2当初: 144,614千円(R1 8月専決: 90,690千円)
未感染地域への感染イノシシの進入を防止するため、5つの防衛ラインを維持
有害鳥獣捕獲作業に伴う交差汚染を防止するため、捕獲従事者へ消毒資材を配布

(3) **新** 林業大学校教育環境の整備

- ・ 林業大学校教育環境整備事業 R2当初: 493,560千円
建築から40年が経過し、老朽化が著しく進行した男子寮棟を改築